

七転一起

Life is a series of choices～人生は選択の連続だ～



沖縄市立美里中学校
進路だより 第25号
2022年10月3日
進路指導部

宜野湾高校(全日制)の学校説明会に参加してきました

宜野湾高校には普通科6クラス(240名)のみ設置されており、コース制が採用されています。学校の周りには宜野湾コンベンションセンターや陸上競技場など施設が充実しています。情報処理コース1クラス(40名)、スポーツ・健康コース1クラス(40名)、普通コース4クラス(160名)、さらに普通コースは普通クラス3クラスと特進クラス1クラスに分けられます。

情報処理コースは、学校が指定する情報処理関連の検定を受検することになっています。昨年度から募集定員が2クラスから1クラスに変更されています。情報処理に関する基礎知識・技能の習得、上級学校への進学を目指します。1年では情報処理の基礎となるWord、Excel、パワーポイントなどを学び、2・3年になると動く絵本などの作品制作を行うそうです。マルチメディアに関する知識・技術の修得やIT教育センターでの校外実習もあります。

スポーツ・健康コースは、運動部で活動する意思のあることが条件です。スポーツに関する基礎的な知識と技能を習得するとともに、上級学校への進学を目指します。応急処置の資格取得や、キャンプ、ボウリング、ゴルフ、海洋等の実習体験や、集団行動・ウォーターボーイズにも取り組むそうです。通常の体育以外に週4時間スポーツの科目があります。また、このコースを推薦入学で志願する人は学校指定種目(サッカー、バスケット、野球、中・長距離走)の中から各自が選択した種目についても実技テストも課されるそうです。

普通コースは幅広い進路に対応するために設置されています。各種検定の取得と上級学校への進学を目指します。進路目標(就職・進学)・個性・興味・関心に応じた科目の選択ができます。特進クラスは、学校指定の全国共通模試の受験かつ早朝講座(7:30～8:20)・夏季講座(8日程度)を受講することが条件で、進級時に入れ替えもあるそうです。宜野湾高校の特進クラスで実施されている早朝講座は学校の特色として今後も継続されていく予定だそうです。

学校の取り組みとして、高校卒業後に進学をしたい生徒は増えているということをつまみ、専門学校先生を招いて放課後講座を実施する計画があったり、総合的探求の時間を地域で学ぶことをコンセプトに積極的に取り組んでいること、シンガポールの中高生とオンラインで交流を深め、コロナが落ち着けば現地に赴いて交流しようという計画があることが紹介されていました。

